

令和7年度 園芸科「生物活用」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸科 2年A組
教科書	生物活用（実教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、園芸作物や社会動物の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生物活用について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 生物活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 生物活用について、生物の特性を活用し生活の質の向上につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	園芸の活用と効果	暮らしと園芸	・暮らしと園芸のかかわりを理解する。	園芸と暮らしの関係について興味が高まったか確認 経済活動との違いを確認 園芸の活用が理解できたかノート提出で確認 社会の中での役割を理解できた 適切な栽培管理ができたか確認
5	栽培管理	園芸の効果	・園芸とその効果を理解する。 ・広がる園芸の活用をする。 ・園芸の持つ多様な効果を理解する。	
		栽培管理	・感性を磨き、他者を思いやる人間性の育成を図る。 【実習】植物栽培 春作物の栽培播種	
6	栽培管理	園芸の効果と生かす活用場面	・多様な園芸活用の場面と取り組みを理解する。 ・創作活動を学ぶ ・快適環境の創成、管理、文化、教育について学ぶ ・健康対策について学ぶ 【実習】植物栽培 除草・間引き・補植	園芸の環境整備・社会交流について必要性が理解できたか課題で確認 快適環境の創造管理ができたか確認 健康対策への意識が高まったか課題で確認 適切な収穫管理ができているか確認 1学期に学習した内容が理解できているか考查で確認
7	栽培管理	栽培管理	・園芸の療法的活用を理解する。 【実習】植物栽培 春作物の栽培 植物体の片付け	
		期末考查		
9	草花の栽培と活用	栽培管理	【実習】植物栽培（秋作物の栽培） 圃場準備 播種	適切な実習ができているか確認 草花の持つ多面的機能について理解できたかノート提出で確認 花材によって利用するポイントが異なることが理解できたか確認 花壇栽培の管理方法や、 作業効果を理解できたか確認 植物体に対して適切な管理ができたか確認
10	栽培管理	私たちと暮らしと草花活用	・草花の活用とその効果を理解する。 ・草花の特性と活用場面を理解する。 ・生育の特性と活用のポイントを理解する。	
		草花の特性と活用ポイント	・草花の利用上の特性を理解する。 ・いろいろな活用と管理を理解する。 ・花壇のデザインを理解する。	
		花壇の活用と管理	・花壇苗の栽培管理と作業の効果を理解する。	
		栽培管理	【実習】植物栽培	

1 1	栽培管理	栽培管理	【実習】植物栽培 収穫・調整	適切に収穫調整片付けが適切にできたか確認
	フラワーデザイン	フラワーデザインについて	・フラワーデザインとその活用を理解する。	アレンジに必要な花材を判断できるか確認
1 2	日本の四季	フラワーデザインの基礎	・アレンジメントの基礎とバリエーションを理解する。	リボンワークやフローラルテープの活用ができたか実技で確認
		日本の四季について	・日本の四季における草花や植物との関係を理解する。	日本の四季に適した草花を選べるか課題で確認
		期末考査		2学期に学習した内容が理解できているか考査で確認
1	二十四節気について	二十四節気と植物の関係①	・日本に古くから存在する二十四節気について学習する。	日本の文化に興味が高まったか確認
2		二十四節気と植物の関係②	・節季という単語について理解する。	二十四節気と植物の関係を理解できたか確認
3	年中行事について	二十四節気と植物の関係③	・二十四節季にある節と植物との関係を理解する。	節季と暦の関係を理解できたか課題で確認
		年中行事と植物の関係①	・日本人と植物の関係について学習を深める。	暦・節季と日本人との関係を学習できたか確認
		年中行事と植物の関係②	・年中行事について学習する。	年中行事について興味を持てたか確認
		年中行事と植物の関係③	・行事と植物の関係を理解する。	植物との関係を理解できたか
		学年末考査	・日本の文化と植物が深く関係していることを知る。	文化に関係している事を理解したか 学習内容が理解できたか考査で確認

3 評価の観点

知識・技術	緑のある環境・園芸・社会動物が人の健康にもたらす 特性と健康効果、地域社会や農業・園芸における健康に関する今日的な課題等について理解をしている。
思考・判断・表現	生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解するとともに、今日的な課題などについて、ヒューマンサービス関連分野における職業生活として考え、的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	動植物の多面的な役割をフィールドワークや調べ学習をとおして理解し、学校周辺及び地元についての生物環境及び社会福祉環境を積極的に理解している。

4 評価の方法

「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

・出席を常になしてください。 ・授業に必要な教具を準備し、適切な服装で参加してください。 ・ノートは確実に提出しましょう。 ・道具を使うことがあります。安全に配慮して実習を行いましょう。使った物は確実に片付けましょう。最後まで取り組みましょう。 ・定期考査を実施します。評価の大切な材料となりますので、しっかり取り組みましょう。
--